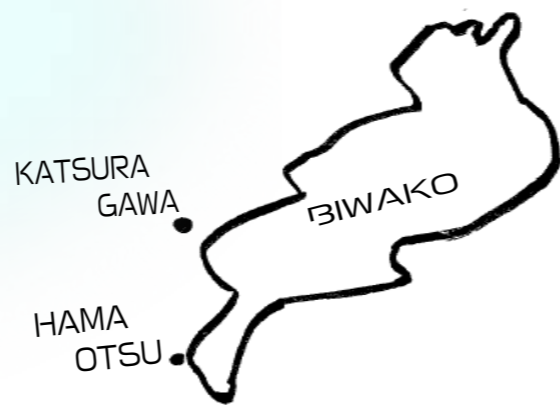


「夏の自然を味わう」

湖、森、川ー豊富な自然に囲まれた大津。
近江の恵みを存分に味わってみませんか？
この夏おあそびの3つのスポットをご紹介します。



★マイナスイオンを全身に浴びてリフレッシュ。

「鮎・あまごのつかみどり BBQ」 一葛川漁業協同組合



葛川漁協 上谷さん（清流の源流をバックに）

◆大津市葛川坊村町 237-37 ☎077-599-2120
（湖西道路 真野 IC から R477/367 経由で約 20km、
坊村町河川敷。／駐車スペースあり
／バス…JR 堅田駅⇔細川 土日に 1 日 2 便、
土日休のみ出町柳駅から 1 日 2 便）
料金：平日（1 棟貸し）
…普通サイズ（10 人程まで）3,000 円、
大型（20 人まで）5,000 円
／休日…大人（高校生以上）2,000 円 / 人、
小人（小・中学生）1,200 円
※鮎（あまご）追加…1 匹 400 円
※オプションで焼き鳥セットあり…1,000 円
仮設トイレ・フィッシングルームあり、
焼き網・テーブル・炭要持込み（有料レンタル有）。

高島市との境に位置する、大津市葛川（かつらがわ）。深い山と綺麗な水に囲まれ、ゆったりと一日過ごすことができます。
7月の初旬から9月の中旬まで、鮎とあまごの掴み取りをすることができます。そして、獲った魚はその場で BBQ にすることもできますよ。「水がとっても綺麗です。マイナスイオンを全身で浴びられます。」と話す、漁協の上谷さん。葛川の自然の魅力は、若い世代にも人気。子ども連れで遊びに来て、気付いたら大人が夢中になって遊んでいることもしばしば。土日に比べ、平日が値段的にも空き状況的にもオススメです。家族連れ、女子会、親睦会、いろんな仲間と一緒にリフレッシュにいかがですか？



◀昨年の台風被害の後。突風により、BBQ 建屋が倒壊。現在鋭意復興中です。



つかみどりの様子



浜大津こだわり朝市 福本さん



▲琵琶湖料理（イメージ）



★「沖島の魅力」を発見！

「沖島の四季（夏）水辺の散策と琵琶鱒と鰻を食す・日帰りクルーズ」

一琵琶湖汽船株式会社

琵琶湖でいちばん大きな島で、日本唯一の淡水湖にある有人島、沖島。琵琶湖汽船の沖島クルーズの中でも特に人気のある美味探訪クルーズは、漁師の奥さんが手作りする旬の湖魚料理や地元の郷土料理を楽しめます。

近江歴史の専門家の同行案内付き。琵琶湖の文化や歴史、環境にも触れ、学び直しにも最適。知ることでさらに琵琶湖を身近に感じられます。

森さんによると、参加者からは「琵琶湖の食文化を体験できた」という感想のほか、のんびりした島時間に癒されたという声も多いそうです。

リピーターも多いこの企画、あなたもぜひ沖島を味わいに行きませんか？

◆大津港より出航（大津市浜大津 5-1-1）
日時：8月25日（土）
大津港 10:00 発～大津港 16:00 着
料金：7,000 円（乗船料・昼食代・保険料）
申込み（※要予約）：077-524-5000
（9:00～17:00）年中無休



車も走らない、静かな島。



「夏にはピアクルーズもオススメです」と話す、琵琶湖汽船の森さん。

★近江の旬の美味しいものがたくさん！

「浜大津こだわり朝市」 一浜大津こだわり朝市運営委員会

近江のもの、手作りのもの、無添加のものを対面販売することを基本に、作り手さんから直接買うときのコミュニケーションが楽しい朝市。湖魚の揚げたて天ぷら、新鮮なお野菜や卵、日本酒やチーズにキムチといった発酵食品などなど…。思わず目移りしてしまうものばかり。ちょっと早起きしてお散歩してみてもは。

◆京阪浜大津駅降りてすぐ（浜大津駅スカイサーカス）にて
毎月第3日曜 8:00～12:00 開催



◀揚げたての小鮎の天ぷらが食べられます。

《ちょこっとこぼれ話…》

●命や自然の大切さを身近に感じてもらえたら

～葛川漁業協同組合～

葛川の自然環境は、若い人にとって新鮮で魅力的な様子。「学生さんの力を借りながら、面白いこと、皆が楽しめることをやっていきたい」と上谷さん。学生ボランティアやアルバイトの受入れも積極的に行っています。また、葛川小学校の子どもたちとの「鮎の放流」や、葛川を訪れる小中学生への「命の学習」などの連携も。自然に触れ、生き生きと過ごす子どもたちの姿を感じながら、山や川が生活とどう結びついているのか知ってもらえたら、と考えています。

●琵琶湖より深い琵琶湖愛

～琵琶湖汽船株式会社～

琵琶湖を一周するクルーズ「ぐるっと琵琶湖島めぐり」が沖島に寄港するようになったのが今から 10 年前。当時の運航担当者と漁師さんたちの雑談から生まれたのが「鮎ずし作り体験クルーズ」。今では鮎ずし作り体験クルーズにとどまらず、沖島の魅力を体験できる様々な沖島クルーズを開催されています。また、地域の団体と連携し、一万本の桜の植樹、景観づくり、水草を食べるワタカの放流等の様々な環境保全活動を行っています。

●近江のこだわりのもの・人の交流の場に

～浜大津こだわり朝市～

「中心市街地と浜大津湖岸境界のイベントの架け橋になれば」と福本さん。昨年、大津市協働提案制度を使ってノボリ旗を作成したそうで、朝市の活気を一層盛り上げています。学生の出店を応援するインキュベーションの場としての役割もあり、今後も様々な人や物の交流の場になればと考えています。県内各地からのお客さんに加え、ホテルのバイヤーの方が来られることもあるそうです。

